

今年の全日本キスは京都府間人会場のPJになりました。間人(たいざ)と言えば、これだけあっちこっち行ってるにも係わらず殆ど竿を出した事ありません。相当以前に一度だけキスを狙って竿を出しましたが何にも釣れず帰った程度。このエリアに不慣れなのは多分、大物号数に絡む魚が釣れないからだと思います。近くの浜詰辺りはクラブ対抗キスで毎年、行きますがそれだけです。今回はPJなので出発が一番後になりますので恐らく好ポイントは無いです。おまけに釣り場を知らないので選択肢がありません。一応、この周辺に詳しいクラブのHPやグーグルアースで釣り場を見ては自分なりに計画を立ててみました。

午前1時約20台ほどの参加者の車を送り出して私は大山さん、小西さんの3人で出発しました。私もそうですが他の二人もこのエリアは全く知りません。どうなることやら。

一先ず砂方の地磯から狙うつもりをしていましたが真っ暗で降りる道が判りません。おまけに直前に降った雨の影響でかなり温んでいます。安全を考えて明るくなってから釣り場に入る事にしました。大型キスを狙うなら勝負は暗いうちなのですが、知らない釣り場では無理をしない方が良いでしょう。殆どの釣り場が始めてなので車を走らせながら見てまわります。とは言っても真っ暗ですが(笑)キス釣りは並んで釣ると錘の着水音で散ってしまうので1箇所に入らないほうが良いのですが3箇所もポイントを知りません。おまけにウロウロしていると時間だけが経ってしまっって夜が空けてしまいます。

中浜漁港の東の防波堤は幸い誰も居ないので3人で入る事にしました。中ほど外向きにテトラの一字がありその際がキスには良いそうです。そこに小西さん。その次に大山さん、私は先端に2本捨て竿をして1本持って中、外、先端と探り歩きますが何のアタリもありません。



その内に夜が明けて来ました。この辺りは水深が浅いので大よそ、夜が明けると大型のキ

スは望めません。サビキながら遠目で先端の竿を見ていると左側の竿に激しいアタリです！ドラグは何時も緩めているにも係わらず穂先が激しく何度も押さえ込まれています。キスでは無さそう。慌てる事はないので次のアタリを待ちますが、その次がありません。案の定、すっぽ抜けでした。何か判りませんが始めてのアタリだったので、すぐにエサを付け替えて同じところに投げます。暫くして振り向き様に「カタン」先ほどの竿が斜めになっています。ジッジッ・・僅かにドラグが逆転します。なんだろう？軽く合わせますが以外に重量感が有り締め込みもあります。どうやらキスでは無さそうです。前にテトラが入っていますので竿を一杯延ばして慎重に抜きあげました。



大きくありませんがマダイでした。他魚は5割なので（マダイは÷70）話になりませんがそれでも対象魚が釣れると言うことは嬉しいものです。現金な物で打ち返す手数が増えてきます。そうこうする内に夜が明けて相変わらずアタリは有りません。他の二人も坊主で5時に納竿。移動です。

夜中に見に行った砂方の岩場が気になるので戻りましたが生憎、磯釣りの方が2名入っておられるのでその周辺の岩場を探索。道路から少しですがロープで降りれる岩場



を見つけました。手前はシモリがありますが沖は砂地のようです。ここなら3人で並んで釣れそうです。何とか1匹をものにしたく道具を担いで降ります。夜はすっかり明けて周囲は明るくなっているので急いで3本の竿を投げ分けます。



ところが一息入れて後ろの潮溜まりを見てビックリ！



サメにフグ、写真に写っていませんがヘビまで居ます。外道三点セットですわ。あちゃ～昨夜ではないと思いますが最近、投げ釣りの方が釣って潮溜まりに放り込んだのでしょうか。本命のキスを見る前に外道三点セットでは戦意喪失です。

その頃から電話やメールが来ますが何処も釣れていないとか。広島八尾さんも長崎から電話をかけてきてくれましたが九州は大雨でキスも24センチが最大とか。カワハギのAにマダイのBが釣れた程度と嘆いておられました。釣果はともかく全国の会員と同じルールでいっせいにスタートする大会はこう言う楽しみも有りますね。

エサもたっぷり残っているので手返しだけは欠かさないようにしますが
釣れて来るのは



あきませんなあ。

と言う訳で今回も寂しい釣果で納竿です。ただ、審査に戻って驚いたのが大半の方が直帰組。おまけに審査に戻って来られた方でも審査カード提出は私を含めて3名で本賞は2人。キスを出されたのはお一人だけ(27.2cm)と言う寂しさ。ホント、キスは何処に行ったんでしょうね。



それにしてもこのNAGE - STYLE始めて釣れない釣りばかり、書いてますが
たまには釣れた釣りの釣行記でも書いてみたい今日この頃です。